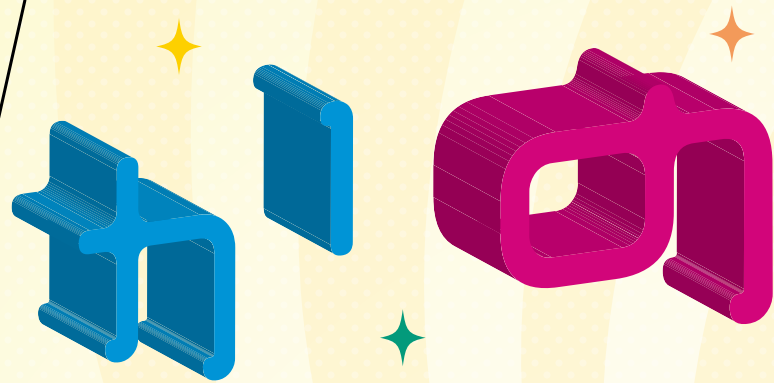


知れば知るほど
おもしろい!



中野には、思わず人に話したくなるような歴史や文化がたくさんあります。今号では、中野の豆知識に加え、中野区検定や受検者へのインタビューを紹介。知れば知るほどおもしろい中野の魅力をのぞいてみませんか。

昔は海だった!? 坂が多いヒミツ

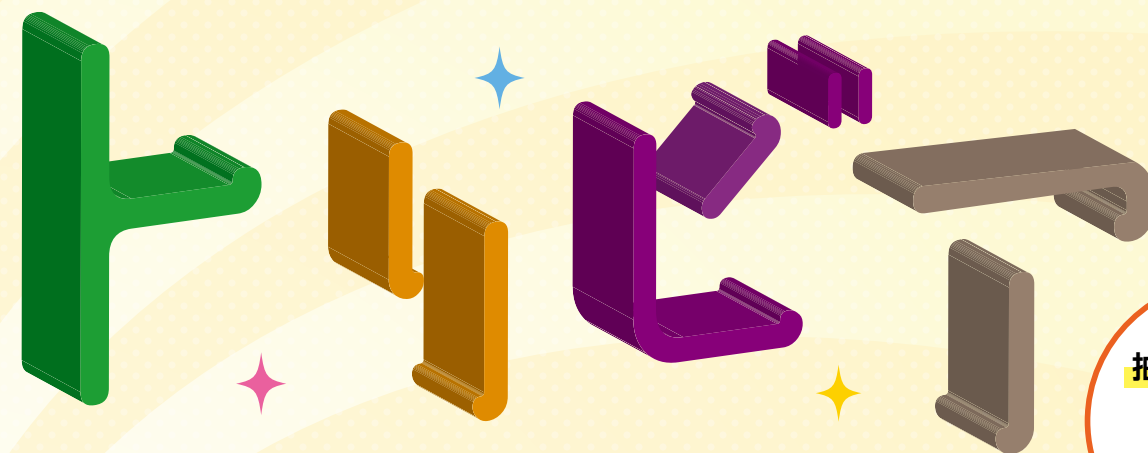
中野に坂が多いのには、実は壮大な理由があります。約7万～10万年前、この一帯は海の底でした。その後、富士山や箱根山から飛んできた火山灰が何万年間も積もって台地をつくり、さらに川や地下水が地面を削って谷や坂をつくりました。こうして約2万年前には、今につながる地形がほぼ完成。普段何気なく上り下りしている坂道にも、悠久の歴史が隠されているのです。



東京ドーム約21個分の 「犬屋敷」

江戸時代、第5代将軍・徳川綱吉が出した「生類憐みの令」により、中野には保護した犬を飼育するための巨大な施設「お囲い」が造られました。その範囲は、なかのZERO周辺から中野区役所、さらに環状七号線を越えたあたりまで広がったといわれています。犬の数は最大30万頭ともいわれ、1年間の維持費は現在の額で約122億円にもなったそうです。区役所には、その歴史を伝える「お囲いの犬」の像が設置されています。

中野の歴史をもっと知りたい方は、
区HPでご覧になれます



あなたは何問解ける? /

なかのクロスワード に挑戦してみよう

ルール

問題の答えをひらがなで記入してマスを埋めましょう。マス全体の文字の中に「な」「か」「の」「く」の文字はそれぞれ何個ずつ、合計何個あるでしょうか。
☆解答は、なかの区報10月5日号でお知らせします

な か の く
 個 + 個 + 個 + 個
 合計 個

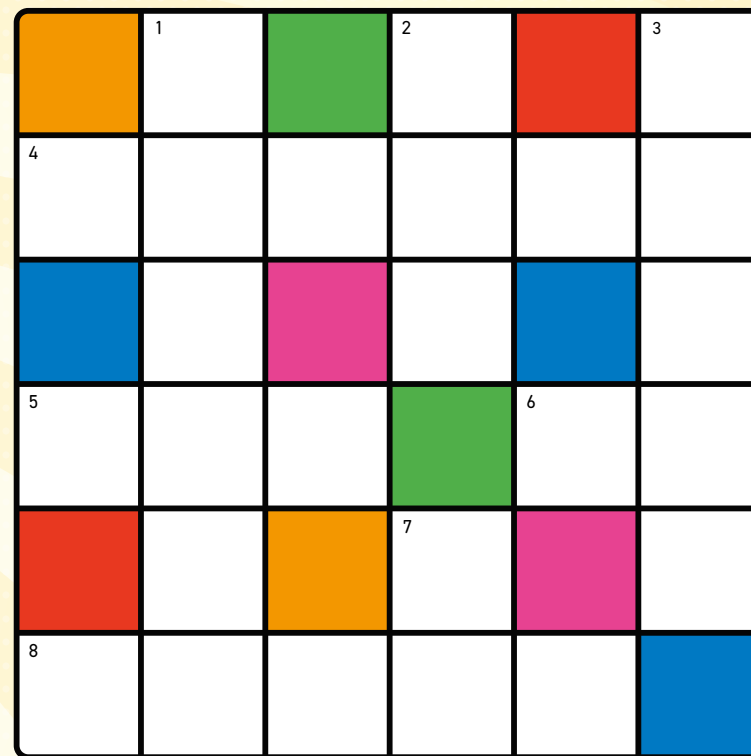
↓タテのカギ

- 鷺宮八幡神社の隣にあり、鷺宮囃子の伝統を支えるお寺「〇〇〇〇〇」
- かつて製粉業など産業の発展を支え、今も春は桜並木で美しい川「〇〇〇川」
- 令和5(2023)年に閉館した、エネルギーの象徴“太陽”と、人々が集う場所“広場”が由来の施設「中野〇〇〇〇」
- 中野区出身の上野姉妹が世界で活躍する盤上競技「〇〇」

→ヨコのカギ

- 昨年12月に本社を中野へ移転した児童書出版社「〇〇〇〇〇〇書店」
- 昭和38(1963)年まで、路面電車が走っていた「〇〇〇街道」
- 上高田の萬昌院功運寺に墓がある、“忠臣蔵”で知られる人物「〇〇^{こうつけのすけ}上野介」
- 駅構内に区境がある、中野区最北端の駅「〇〇〇〇駅」

💡 表紙にヒントが隠れているかも!?



🎁 プレゼント応募方法

広報係/7階 ☎(3228)8803 FAX(3228)5476
✉kuho@city.tokyo-nakano.lg.jp

正解者の中から抽選で10人に区内共通商品券(500円分)を贈呈。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

対象 区内在住の方

申込 10月1日までに電子申請か、電子メール、ファクス、郵送(〒164-8501/住所不要)または直接、広報係へ。☑住所、氏名、年代、なかのクロスワードの解答(合計の個数)、今号の感想



▲電子申請はこちらから

中野をもっと知りたいと思った方へ
次のページで中野区検定を紹介します

かつて中野は 「神奈川県」だった!

明治5(1872)年、行政区分の見直しにより、中野区は東京府から神奈川県へ編入されました。当時の役所は横浜。電車もない時代で、手続きに行くだけでも一苦労でした。「遠すぎて不便!」という声が相次ぎ、わずか数か月で東京府へ戻ることになった。中野には、こんな“幻の神奈川県時代”があったのです。

